

平成18年9月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)

平成18年2月6日

上場会社名 株式会社フルキャストテクノロジー

(JASDAQコード番号: 2458)

(URL <http://www.fc-tec.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 貝塚 志朗

責任者役職・氏名 取締役管理本部長 岩田 剛司

(TEL: (03)3780-8321)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成18年9月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年10月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績(非連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年9月期第1四半期	1,836	(-)	94	(-)	64	(-)	32	(-)
17年9月期第1四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)17年9月期	6,865		451		430		247	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年9月期第1四半期	2,537	42	2,363	11
17年9月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)17年9月期	21,797	16	-	-

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同期に対する増減率であります。

2. 四半期の経営成績の売上高、営業利益等の項目につきましては、当第1四半期より開示を行っておりませんので、前年同期の実績およびこれに対する増減率の記載は行っておりません。

[経営成績(非連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における我が国経済は、引き続き原油価格高騰の内外経済への影響が懸念されるものの、企業収益は堅調に推移し、設備投資も増加傾向にあります。当社の主要顧客でありますエレクトロニクス業界におきましては、将来的な事業拡大や市場競争力強化のための開発投資の強化拡大の取組みが顕著になってまいりました。

アウトソーシング業界の市場については、過去に人員整理を行ってきた企業が正社員の雇用を積極的に再開してきているものの、企業側の需要は依然として高水準で推移しているためアウトソーシング業界に対するニーズはより一層高まってきております。

このような環境の中、当社におきましては新卒社員ならびに中途社員の積極的な採用を行っております。また、将来的な労働人口の減少を見据えて海外居住者の採用ならびに技術社員の付加価値を高めるべく教育を積極的に行ない顧客企業に人材の提供を行うことも着手しております。

以上の結果売上高は1,836百万円、経常利益は64百万円、四半期純利益32百万円となりました。

(2) 財政状態（非連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年9月期第1四半期	3,373	1,951	57.9	146,214	42
17年9月期第1四半期	—	—	—	—	—
(参考) 17年9月期	2,446	1,137	46.5	100,243	38

(注) 四半期の財政状態の総資産、株主資本等の項目につきましては、当第1四半期より開示を行っておりますので、前年同期の実績の記載は行っておりません。

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年9月期第1四半期	△55	△8	1,045	1,792
17年9月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 17年9月期	200	△38	△180	811

(注) 四半期のキャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期より開示を行っておりますので、前年同期の実績の記載は行っておりません。

〔財政状態（非連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期末の総資産は、3,373百万円となり、前期末に比べ926百万円増加しました。これは主に新株発行により現金及び預金が775百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、1,422百万円となり、前期末に比べ112百万円増加しました。これは主に短期借入金が275百万円増加したことによるものであります。

株主資本につきましては、1,951百万円となり、前期末に比べ814百万円増加しました。これは新株発行により資本金が323百万円及び資本準備金が458百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果使用した現金及び現金同等物（以下「資金」という）は55百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益58百万円及び未払費用47百万円の増加が、賞与引当金105百万円の減少及び法人税等の納付120百万円による資金の減少と相殺されたことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は8百万円となりました。これは主に固定資産の取得8百万円によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は1,045百万円となりました。これは主に短期借入金500百万円の増加及び新株発行775百万円によるものであります。

○添付資料

四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書、生産、受注及び販売の状況

以 上

〔参考〕

平成18年9月期の業績予想（平成17年10月1日～平成18年9月30日）

平成17年11月7日に発表しました平成18年9月期の中間期及び通期の業績予想につきまして、現時点において変更はございません。

※ 予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

1. 四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第1四半期末)		(参 考) 平成17年9月期	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
I 流動資産				
1. 現金及び預金	1,792,719		811,681	
2. 受取手形	11,012		8,090	
3. 売掛金	975,441		997,604	
4. たな卸資産	12,114		3,802	
5. 繰延税金資産	124,276		149,872	
6. その他	157,477		183,997	
貸倒引当金	△3,023		△4,184	
流動資産合計	3,070,018	91.0	2,150,865	87.9
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物	2,852		2,505	
(2) 工具器具及び備品	30,632		27,593	
有形固定資産合計	33,484	1.0	30,099	1.2
2. 無形固定資産	16,284	0.5	15,740	0.7
3. 投資その他の資産				
(1) 敷金・保証金	165,893		162,586	
(2) その他	94,188		93,967	
貸倒引当金	△6,249		△6,306	
投資その他の資産合計	253,832	7.5	250,247	10.2
固定資産合計	303,602	9.0	296,087	12.1
資産合計	3,373,620	100.0	2,446,953	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第1四半期末)		(参 考) 平成17年9月期	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%
I 流動負債				
1. 買掛金	15,125		17,951	
2. 短期借入金	433,367		158,168	
3. 1年以内返済予定の長期 借入金	5,480		11,040	
4. 未払費用	354,914		307,604	
5. 未払法人税等	7,939		137,538	
6. 賞与引当金	192,211		298,000	
7. その他	259,164		227,935	
流動負債合計	1,268,202	37.6	1,158,238	47.3
II 固定負債				
1. 退職給付引当金	154,040		151,353	
固定負債合計	154,040	4.5	151,353	6.2
負債合計	1,422,243	42.1	1,309,591	53.5
(資本の部)				
I 資本金	822,950	24.4	499,950	20.4
II 資本剰余金				
1. 資本準備金	694,150		235,950	
資本剰余金合計	694,150	20.6	235,950	9.6
III 利益剰余金				
1. 四半期(当期)未処分利益	434,277		401,461	
利益剰余金合計	434,277	12.9	401,461	16.5
資本合計	1,951,377	57.9	1,137,361	46.5
負債及び資本合計	3,373,620	100.0	2,446,953	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第1四半期)		(参 考) 平成17年9月期	
	金額	百分比	金額	百分比
		%		%
I 売上高	1,836,426	100.0	6,865,701	100.0
II 売上原価	1,374,045	74.8	5,236,015	76.3
売上総利益	462,381	25.2	1,629,685	23.7
III 販売費及び一般管理費	368,011	20.0	1,178,571	17.1
営業利益	94,369	5.2	451,114	6.6
IV 営業外収益	445	0.0	538	0.0
V 営業外費用	29,943	1.6	20,767	0.3
1. 新株発行費	5,577		—	
2. 上場関連費用	22,518		—	
3. その他	1,846		20,767	
経常利益	64,872	3.6	430,886	6.3
VI 特別利益	1,218	0.1	6,806	0.1
VII 特別損失	8,015	0.4	11,681	0.2
税引前四半期(当期) 純利益	58,075	3.3	426,012	6.2
法人税、住民税及び 事業税	813	0.0	215,231	3.1
法人税等調整額	24,446	1.3	△36,530	△0.5
四半期(当期)純利益	32,816	2.0	247,310	3.6

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	当四半期 (平成18年9月期第1四半期)	(参 考) 平成17年9月期
	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期(当期)純利益	58,075	426,012
減価償却費	3,511	15,582
貸倒引当金の増減額	△1,218	2,987
賞与引当金の増減額	△105,788	69,000
退職給付引当金の増減額	2,687	33,265
受取利息及び受取配当金	0	△278
支払利息	388	2,062
新株発行費	5,577	—
固定資産売却益	—	△76
営業譲渡益	—	△6,616
固定資産除却損	—	259
事業整理損	—	9,564
営業権償却費	—	658
ソフトウェア償却費	1,311	21,898
売上債権の増減額	19,241	△38,553
たな卸資産の増減額	△7,283	16,994
仕入債務の増減額	△2,826	△29,845
未払費用の増減額	47,310	28,124
その他	44,587	△138,612
小計	65,572	412,426
利息及び配当金の受取額	0	278
利息の支払額	△405	△1,948
法人税等の支払額	△120,659	△210,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,491	200,519
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,896	△23,652
有形固定資産の売却による収入	—	52
無形固定資産の取得による支出	△1,855	△14,067
貸付による支出	△400	△1,870
貸付金の回収による収入	420	1,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,731	△38,006
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	275,199	△141,968
長期借入金の返済による支出	△5,560	△39,010
株式の発行による収入	775,622	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,045,261	△180,978
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額	981,037	△18,464
VI 現金及び現金同等物の期首残高	811,681	830,146
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,792,719	811,681

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

4. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、提供するサービスの性格上、生産実績になじまないため、記載を省略しております。

(2) 受注状況

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、受注時の業務量がその後の顧客の要望に合わせて変更することが多く受注状況を正確に把握することが困難であるため、当該記載を省略しております。

(3) 販売実績

(単位：千円)

製品区分	当四半期 (平成18年9月期第1四半期)	
	金額	構成比
エンジニアアウトソーシング事業	1,624,770	88.5%
ビジネスソリューション事業	211,656	11.5
合計	1,836,426	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 四半期の販売実績につきましては、当第1四半期より開示を行っておりますので、前年同期の実績およびこれに対する増減の記載は行っておりません。